

平成31年度 I期山行案内

インフルエンザが猛威を振るっているようですが、皆様はいかがお過ごしですか？今年の冬は雪が少なく、山へ向かう道中の心配が減りありがたいことですが、山にはやはりそれなりの雪が欲しいなあと贅沢なことを思っているこの頃です。

さて、今年も31年度のI期(4月～7月)山行の希望を伺う時期となりました。すぐそこに春の芽吹きが近づいています。多くの方の参加をお待ちしております。

そこで、下記の山行紹介文を参考にし、メール配信の方はメールで参加したい山の名前を書いて返信して下さい。郵送の方は、同封のハガキに62円切手を貼って参加希望の有無をお知らせ下さい。名前をお忘れなく。2月24日必着です。

参加希望者には、後日担当者から詳しい山行案内の連絡がありますので、登山計画書の作成等の打ち合わせに参加して下さい。もしも担当者から詳しい案内が届かない場合は、連絡ミスや忘れていた場合がありますので担当者に確認をお願いします。

参加希望を提出した山行を欠席される場合には、必ず担当者にその旨を電話もしくはメールにてお伝え下さい。(メールの場合は、受診確認されていない場合も考えられますので、担当者は必ず返信をして下さい。欠席者は担当者からの返信メールが無い場合、電話等で確認を取って頂きたいと思えます。)

(A)例会

1. 5月例会 錫杖ヶ岳(676m△なし)

5月12日(日)

体力 ★ 技術 ★★ 危険 ★

錫杖ヶ岳は、三重県亀山市と津市の境に在り、山頂部が突き出した鋭鋒で低山ながら平野からそれと分かる。山頂からの展望は申し分なし。

登山道は、北側の加太向井からと、南側の錫杖湖からがあるがどちらからも2時間弱で山頂に達する。今回は加太向井から柚之木峠を経由し、岩場を通るコースで登りたい。

集合場所 岐阜県庁 駐車場

集合時間 AM7:00

行動予定 東名阪自動車道経由 向井IC 登山口駐車場 8:45

登山口 9:00

山頂 11:00～12:00

登山口 13:30

岐阜県庁 駐車場 16時(解散)

地図:平松(1/2.5万)

担: 神山敬三

2. 6月例会 富士写ヶ岳 941.9M

6月2日(日)

体力:★ 技術:★ 危険度:★

石川県加賀市の富士写ヶ岳は、「日本100名山」の著者深田久弥氏が最初に登頂された山として知られており、全国から登山者が訪れているそうです。

今回は岐阜、福井から近い「大谷コース」を、登ります。このコースは比較的に楽に登れるコースで、ファミリー向けとしてお薦めコース、との事です。そして眺望も良い、との事、楽しめそうです。

加賀市には、「深田久弥山の文化館」があり、日本山岳会の方が館長を務めていますが、時間の都合で寄れません。

今回の山歩きはパーティー行動、先頭はサブリーダー、最後尾はリーダーが歩きます。

又、遠方のコースです。車を出していただける方、よろしくお願いします。

集合場所 美濃総合庁舎

集合時間 6時出発

行動予定 登山口 8時30分 8時45分出発

頂上 11時15分～12時15分

登山口 14時

美濃総合庁舎 16時30分頃帰着 解散

担当：後藤 允

3. 7月例会 自然観察会 屏風山 (794.1m)

7月21日(日)

体力;★ 技術;★ 危険;★

これまで鳥の渡りの自然観察会を3年間続けてきましたが、今年からは趣向を変え、山野草に目を向けてみたいと思います。ランの研究者でもある市橋正一先生に同行して頂き、いろいろ教えて頂きましょう。花に興味のある方、御参加をお待ちしております。質問にも答えて頂けると幸いです。

集合場所 中濃総合庁舎

集合時間 7:30

行動予定 9:00 寿老の滝車止め

屏風山山頂

黒の田湿原 (昼食)観察会

14:30 寿老の滝車止め

16:30 中濃総合庁舎 解散

地図 瑞浪

担当;藤田純江

(B)バリエーション山行

1. 二度と登りたくない山シリーズ

青 波 (1080.7m 二等三角点 [2.5万図 能郷])

4月14日(日)

体力;★★ 技術;★★ 危険;★★

青波は、能郷白山を起点に揖斐川と根尾川を分けて南下する長大な尾根上にある二等三角点の山、能郷谷の支谷「八谷」の源頭に位置します。続岐阜百山にも選ばれていますが、特に目立つピークではありません。

ルートは八谷の南側の小尾根を直登します。時期的に雪はなく藪もそれほどひどくないと思います。登り3時間半、下り2時間半。

集合場所 道の駅 織部の里

集合時間 7時

担当者 堀 義博

2. 陀羅佛小屋シリーズ/荒倉山

【目的地】 荒倉山(砂鉢山 1432m) 地図;(1/2,5万)戸隠

体力★★ 技術★★ 危険★★

期日 5月18日(土)19日(日)

合併後は長野市だが、旧・戸隠村と旧・鬼無里村にまたがる信州百名山のひとつ。鬼無里といえば、鬼女紅葉(きじょ・もみじ)伝説で知られる。位置的には昨年登った虫倉山の裾花川を挟んだ北側である。荒倉山は山塊の総称で、最高峰の砂鉢山(1431.6m)、霧見岳、竜光山、新倉山の峰からなる。アップダウンの激しい痩せ尾根や岩峰、鎖場など変化に富んだコース。もちろん鬼女紅葉の岩屋なるものもある。文字通り、紅葉の季節は登山者でにぎわうが、今回は新緑の季節に、荒倉キャンプ場から砂鉢山を往復する。

「陀羅佛小屋シリーズ」と銘打つ一連の懇親企画のため、岐阜からは、前日大町市入りして同市北部の陀羅佛小屋(寝袋持参)で前泊する。

担当:村松哲彦

3. 自然観察会 靱糠山 (1774.3m)

6月9日(日)

体力;★★ 技術;★ 危険;★

今年の西條先生の自然観察会は、靱糠山で行います。カツラやオオシラビソなど香りのよい木がたくさんありますので、教えていただきましょう。また、昨年滋賀県の

武奈ヶ岳でブナの話を書きましたが、そのブナの素晴らしい林も見ることができます。更に、多くの花にも出会えます。一日、講義を受けながら五感をフルに活用し、自然を満喫しましょう。

集合場所 中濃総合庁舎

集合時間 5:30

天生峠 8:00

靱糠山山頂 11:00

木平湿原に寄り、途中お昼を食べた後、講義を受け、下山します。

天生峠 15:00

美濃解散 17:30

地図 平瀬、鳩谷 (1/2, 5万)

担当:竹中美幸

4. 地図ナビ(百々ヶ峰)

6月16日(日)

体力 ★ 技術 ★ 危険 ★

登山においてナビゲーションと言えば地図とコンパス！しかしながら一般的なナビゲーションと言えばGPS…昨今は飛行機も船も車も紙の地図で現在地を把握するなんてことはありません。

そして、山岳遭難の統計を見てみると遭難原因の約四割が道迷いだそうで、登山者は地図も読めなきゃGPSも使えてないという実態がよく分かります。

今回は地図ナビとして地形図、概念図、オリエンテーリングマップなどから地図読みのポイントを確認しながらコンパスナビゲーションの難しさを体験し、今どき誰でも持っているスマホの山岳用GPSアプリでテクノロジーの進化を体験しましょう！

スマホがなくても参加OKです。コンパスで頑張りましょう！

※スマホには事前にジオグラフィカというアプリをダウンロードしておいてください。

集合場所 百々ヶ峰三田洞駐車場

集合時間 AM9:00

行動予定 四季の森公園センター東屋で座学 9:15～

オリエンテーリングコースで実践練習 11:00～

解散 15:00

地図:岐阜北部 (1/2.5万)

担当 山田昌孝

5. 上高地山岳研究所夏山合宿

7月13～15日(土日月)

体力 ★～★★★★ 技術 ★～★★★★ 危険 ★～★★★★

上高地に我が日本山岳会の山岳研究所があることはご存知だと思いますが、日本有数の山岳リゾート地である上高地にたったの3000円で泊まれるということをご存知だったでしょうか？一泊すれば年会費の半分！二泊だったら年会費の元が取れてしまいます！

ということで梅雨明けのタイミングに山岳研究所を活用して夏山合宿をします。

初日はのんびり上高地を散策して夜は宴を楽しみ、翌日は穂高連峰を眺めながら岳沢までトレッキングして高山植物のお花畑を満喫してください。

ちょっと待て！そんな生ぬるい山行は合宿じゃねえ！というあなた！参加者から有志を募り穂高連峰のピークを狙う提案をしてください。西穂・奥穂・前穂・明神・ジャンダルムなどどれも素晴らしいルートです。

集合場所 中濃総合庁舎

集合時間 AM9:00

行動予定 1日目 大正池～上高地散策

2日目 穂高山行

3日目 穂高神社参拝

地図:穂高岳 (1/2.5万)

担当 山田昌孝